



特集記事 同仁病院創立100周年記念式典・祝賀会

LEADER'S VOICE 看護部 副主任 東濱幸恵

セクションたより 情報技術室

特集2 平成30年度 研修医～同仁病院での研修を終えて～

2018

11月

広報 vol.240

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会



同仁病院

創立100周年 これからも地域と共に



## 特集記事 同仁病院創立100周年記念式典・祝賀会

平成30年11月10日（土）ロワジールホテル那覇・天妃の間において、同仁病院創立100周年記念式典及び祝賀会を開催。ご多用中にも関わらずご参加頂きました皆様、誠に有り難うございました。

■大正7年、宮古同仁医院を創設。昭和60年に浦添市城間に移り、今年100周年。

今回を機に、医院創設から今日までの長い歴史を知る事ができ、実行委員長の大役を任せられた事を誇りに思っており、院長には感謝しております。

実行委員長として皆をまとめていくのには不安がありましたが、職員がそれぞれの役割をこなし、おもてなしの対応で、盛大かつ大成功で会を終える事が出来ました。この場をかりてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

100年…1世紀も続く医療機関で働く事は素晴らしい事であり、今回の式典・祝賀会はこれからも続く長い歴史の1ページに刻まれる事でしょう。

やえせ Assemble Garden 新築移転、南新館増改築工事と一大事業が控えていますが、八重瀬会の一員として、これからも続く歴史に携わっていきたいと思います。

【実行委員長／事務管理局 総務室室長 金城宗大】

■表紙タイトル文字 作：山内英樹 直筆（同仁病院 院長）

# 同仁病院100周年記念式典、祝賀会を振り返って

同仁病院創立100周年記念式典

医療法人八重瀬会同仁病院 理事長・院長

山内英樹

平成30年11月10日(土) 平成最後の秋、記念式典並びに祝賀会がロワジールホテルで行われた。式典・約200名 祝賀会・330~340名の参加だった。参加協力してくれた職員120数名だったが、八重瀬会同仁病院パワーが炸裂した、と言っても過言ではない、とても素晴らしい会になった。多くの方から電話、mail、手紙、お褒めの言葉を頂いた。特に、当院スタッフの評価が非常に高かった事は嬉しいメッセージだった。

振り返ってみると、当初、宮古同仁医院開院は、手元の資料で大正6年となっていた。所が、数年前発刊された宮古地区医師会「宮古島医療史」では大正7年8月開院となっており、びっくりしたが宮古地区医師会に協力依頼、種々の資料と調査から、大正7年開院が正確、が判明した。100年、1世紀前の事、象徴される右往左往だったが、きちんと資料収集、調査し、後世に正確に伝えなくてはいけない事を改めて感じさせられた。

式次第をどうするか、これ又、100年の重みと、沖縄発信、医療界における責任等々で結構なプレッシャーとストレスを感じながら計画を練った。種々プランが出た、式場やゲストの交渉や問い合わせ、イベントとしてプロや専門家に依頼等あれこれあった。結局、我々らしく、同仁病院らしく身の丈に合った手作りで行こうと決まったのが半年位前だったか。

しかし、それからが又大変だった。マスコミ対応、協賛依頼、式次第、挨拶依頼、招待客、招待状、そして100年の年表作成（正確性、項目抽出等にはかなり苦労した）、加えてその時々の写真、更にはパネル作成し一覧表に、もってきてなかなか大変な作業となった。各々、総務室、企画室が中心となって頑張ってくれ集大成ともなる資料整理ができ、式典祝賀会に臨めた。

当日、入れ込み過ぎか、感激のあまりか、疲れか、初めての経験だが記憶が所々飛んでいる。思い入れが深かったのだろう。参加者は、県内のみならずアメリカ、東京、埼玉、大阪、そして宮古・八重山からも駆けつけて頂き、これ又感激だった。当日の事、そして100年と同仁病院33年、八重瀬会26年の歴史はいざれゆっくり振り返ってみたい。今回は準備から式実行までの苦労話に終始したが、冒頭述べた様に、ともかく素晴らしい会を作り上げる事ができ、多くの方々に、何より家族と誇れる職員みんなに心より感謝を声高に、で締めたい。

ありがとう！！

2018

同仁病院  
創立100周年  
(平成30年)



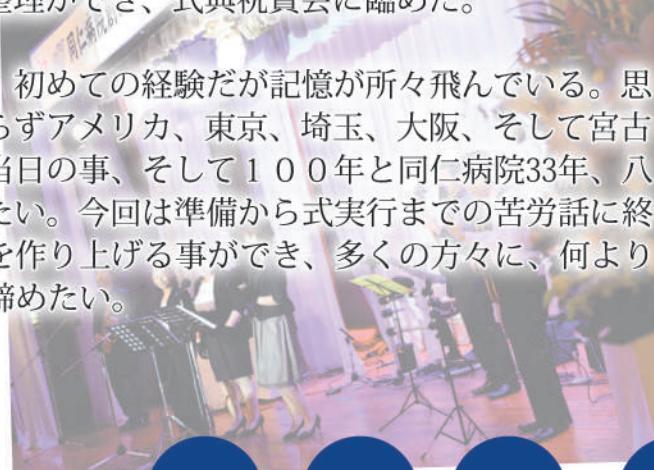
2017

11月 山内英樹理事長  
「旭日双光章」受章  
8月 介護総合施設  
「やくせAssemble Garden」  
工事開始



2016

山内裕樹 院長代理就任  
(平成28年)



2015

ハイケアユニット 開設  
(平成27年)

2002

日本医療機能評価機構  
認定病院取得  
(平成14年)

1992

「医療法人八重瀬会」設立  
(平成4年)

# 同仁病院 創立メンバー（現役）※順不同



山川 岩美  
(放射線科 参与)

「月ヌ走ヤ馬ヌ走」(チチヌハイヤウマヌハイと読みます)「月日が経つのは早い」・「光陰矢の如し」という意味の沖縄のことわざです。同仁病院100周年誠におめでとうございます。大正7年に開設された「宮古同仁医院」、上里忠勝院長から山内朝秀院長、山内秀子先生、そして現理事長・院長の山内英樹先生にバトンタッチされて今年で100年になります。医療界において、長きに亘るご努力による継続に敬服いたします。私と山内院長との出会いは、昭和60年6月13日に同仁病院開設準備事務所(久茂地シオン会議室)でした。現在の城間の地に同仁病院が開院したのは同年9月9日(月)、開院式典は9月7日(土)で、設備も何もなくコンクリートむき出しのままの6階(現在のゆい病棟)全フロアーを利用して盛大に行われました。当時、山内院長は設立から開院に向けて職員の確保に大変ご苦労なされた事をつい先日のように思い出します。特に医師の確保が大変で、院長の母校、東京医科歯科大学から沢山の医師が交代で応援に来て下さいました。当初40名にも満たなかった職員も現在では医師も含め450名を超える大所帯になっています。今後は、院長代理の山内裕樹先生に引き継がれ、これからも地域に密着した医療を展開して、同仁病院の歴史を刻んでゆくものと信じています。みんなで一緒に頑張っていきましょう。



砂川 道子  
(浦添医院 師長)

100周年おめでとうございます。始まりは宮古同仁医院からなんですね!!!。私も宮古島出身で、私が知っている宮古の同仁医院は朝秀先生、秀子先生が開業されていた眼科と歯科の医院です。それ以前の大正7年からの開業(開設)であることを知り、100年前の宮古島の医療状況に思いをめぐらせたりしています。私は、現在の医療法人八重瀬会同仁病院と開設当初から関わることが出来ました。準備期間やとても暑いところで勉強会をしたこと、顔合わせで胸が高鳴ったこと、昭和60年9月9日の開院の日小さな胸に不安と大きな希望を秘め紹介されたことが、昨日のように思い出されます。4階病棟のみで始まり、5階病棟、そしてゆい病棟と病棟が増え、看護師の数も増えましたが、管理者としての経験が無かつた私はいつもバタバタ動いていました。その疲れを院長は飲み会や食事会などで癒してくださいました。4階病棟と5階病棟を行ったり来たりと異動し、平成16年からは訪問看護ステーション「ぐしくま」への異動と全く経験のない部署での勤務をどうにかこなすことが出来たのも、いつも院長先生がおっしゃっている「スタッフのおかげです」がそのまま私にも言えます。これまでやってこれたのも職員や同僚のおかげだと感謝しています。平成23年にはゆい病棟へ異動となり、現在は(医)八重瀬会同仁病院でまだ働かせてもらっています。100周年の1/3世紀に関わることができたことを本当に誇りに思います。これからも八重瀬会同仁病院の各施設が地域に根差し、愛され、必要とされていく事を微力ながら支えていけたらと思います。(今後は、患者としてかな……笑い)



手登根 邦子  
(外来 看護師)

まず初めに「同仁病院創立100周年誠におめでとうございます」。改めて思い返せば、私と院長先生との出会いは昭和60年の夏。長女がまだ生後6ヶ月で浦添市に引っ越ししたばかりの頃でした。新しい職場を探していた私は新聞の求人広告に「同仁病院、新規開院、保育所完備」の文字に、ここしかないと決めて連絡したところ後日那覇市松山のとあるビルの一室で面接を受ける事になりました。そこに白いシャツの似合う若かりし院長先生が同仁病院の模型の前で色々なお話をされて「看護師さんの働きやすい職場にしていきたいので保育園を作りました」とこれから新しい同仁病院を作っていくと瞳を輝かせてくれたのがとても印象に残っています。現在、諸事情により保育所は閉鎖されましたが、当時はとても助かりました。そして、あれから月日はあっという間に流れて33年も過ぎたとは思えませんが、諸先生方、職場の仲間の方々、患者さんなど忘れられない数々の出会いと思い出があります。そして看護師として人間として成長させてもらったことに心から感謝申し上げます。今後の同仁病院のさらなるご発展を願いつつ、もうしばらく体力のある限り働かせていただきたいと思います。



奥平 広子  
(内視鏡センター 看護師) 今後も同仁病院の益々のご発展をお祈り申しあげます。

創立100周年おめでとうございます。

私は同仁病院の開設当初から33年間、外来で勤務しております。

当時を振り返ると、開院にむけてベッドを病室に運び設置したり、細かな備品に至るまで自分たちで揃え準備していた事を覚えています。開院まもなくは患者数も少なかったのですが、月日がたつにつれ患者さんも増え、それに伴い病院の規模は拡大し、スタッフの人数も増えるなど発展してきました。それも患者さんに対しての思いやりや誠実対応第一に接してきた医師やスタッフが信頼された証であると感じております。私も引き続き同仁病院の一員として、地域に根差した医療の提供に最善を尽くしていきたいと考えております。

1985

院長：山内英樹  
(於・浦添市城間)  
同仁病院開院  
(昭和60年)

1946

院長：山内朝秀  
(現院長父)  
副院長：山内秀子  
(現院長母)  
宮古同仁医院  
(昭和21年)

1918

院長：上里忠勝  
(現院長祖父)  
宮古同仁医院創設  
(於・宮古平良市西里)  
(大正7年)

同仁病院の歴史

## 『母と私』

看護部 副主任

東濱 幸恵



先日買い物に出かけた際、清算を済ませている私を、遠くから笑いをこらえて見ている夫。夫に笑っていた理由を尋ねると、「お義母さんにそっくり」という返事だった。つまり、私と母が似ていることが面白かったようだ。

確かに、昔から4人姉妹の中でも、外見は私が母に1番よく似ているとはうすうす気づいていたし、周りから言わることはあった。しかし、その意見に対し私は「心外である」と、異を唱えてきた。

そもそも、私の中の母の記憶は、頭が良くやや天然で、言葉数が少なくぶっきらぼうで、夕飯の家族団らんの時も、ビールを淡々と飲み、父に「話を聞いているのか?」と言われたりしていた。幼心に、そんな母の笑った顔が見たくて、学校であった出来事を面白おかしく話すのが私の日課だった。

私が風邪をこじらせて、看護師の母が務める病院に受診に行った時には、診察待ちをしている私に気づかず通り過ぎていく事もあった。(事前に診察にいく事は伝えてあった)

そんな私と母が似ている?改めて考えてみたがやはり「心外!」である。外見は認めざるをえないが、性格までは違うと思うからである。

しかし、今年の夏休みに帰省した際、母の実家の叔母や従妹、近所の方に母に似てきたと言われた。姉妹からも、私がソファに座っている態度がそっくりと笑われた。さらに決定打だったのが、お風呂上りに、母が若い頃に使っていたパジャマを着た私を見た父が、一瞬止まり「(若い頃の)お母さんかと思った!」と驚いたことだ。

認めざるをえない。気づかないふりをしていたが、私は母に似てきている!外見だけではない、自分自身では社交的だと思っていた性格だが、5年ほど前から自然と言葉数が少なくなり、醸し出す雰囲気も似てきている。そして、そんな私を笑わそうと、子どもが面白い話をしてくることがある。「あれ?この光景、記憶にある。」立場は子どもから、母親に変わったが、まさしく幼い頃の私と母の記憶と同じである。

似てきることに、異を唱えてきた私だが、決して母が嫌いなわけではない。どちらかというと、その逆である。

風邪をこじらせて、診察を待っている私に気づかなかった母に、父は驚いてあきれていたが、私は看護師姿で働く母を誇らしく思い、あの時私も看護師になることを決めたのではなかったか?家族団らんの時、いつも言葉数が少なかったのは、かかえきれない仕事のことを考えていたのかもしれない。

今、私はあの頃の母と同じ立場にいる。

母であり、妻であり、看護師である。母に似てきている私だが、全てにおいて「まだまだ母にはかなわない。」というのが本音である。

看護師として日々業務に追われ、落ち込むこともあるが、母の姿に憧れてなった職業なのだから、誇りをもって頑張っていきたい。

沖縄が大好きな母、今度来た時には一緒にお酒を飲みながら、この広報誌を見てみようか。きっと、母が黙つて読んでいる横で、父が喜々と感想を述べてくるだろう。

今から楽しみである。



第3回となる八重瀬会研究発表会を、11月20日に以下の内容で同仁病院内ティーダホールで開催し、114名が参加しました。

### <開催内容>

座長：田寺 修一先生（内科）

①B病棟看護師 東里若菜

「初めての認知症患者の腹膜透析管理・看護について～退院に向けて家族指導を含めた取り組み～」

②外来看護師 副主任 山川幸子

「外来点滴室、処置室利用状況について報告 第1報」

③用度課 比嘉涼太

「S P Dを導入しての経過と今後について」

■①腹膜透析(P D)は自立率が高い患者さんが行う方法というのが一般的であるが、通常の血液透析では困難な認知症の患者さんに導入した事例に対する入院中の看護や導入に至った経緯、退院後のP D維持管理のための家族への指導などによる発表であった。今後、更なる高齢化社会を迎え、今回のような事例を当院でも多数経験することが予想される。認知症患者の受診増加により病院で行うすべての業務でも認知症の患者さんに対応できるようなスキルが必要になってくるであろうと感じた。

②外来点滴室、処置室の利用時間の時間帯ごとのベッド稼働率を分析し、その稼働効率を上げるために人員配置を考慮したことにより業務改善したという発表であった。分析によりベッドを利用する上でのソフト面、ハード面に対する問題点も指摘された。今回の発表は外来点滴室、処置室利用状況からみえてきた内容ではあるが同様に、様々な部署で業務改善しなければならない案件が大なり小なりある。外来患者さんの円滑な診療については、外来診療、処置、検査等を行う上でどのような点がよく、どのような点で問題があるのかを各部署で検討し話し合い、日々の変化に対応しながらチームとして全体的に改善していくかなければならない部分もあるのではないかと感じた。

③S P D導入後の結果についてメリットとデメリットを具体的にあげて発表された。コスト削減効果もさることながら、在庫過剰による有効期限切れ等も改善されていた。院内にある医療資源を効率的に利用するためにはまず各職員がS P Dのルールを厳守する事が重要だと認識できた。S P Dによる経済的効果やルールの厳守を促すために各部署に定期的な報告（ルールの厳守がされていない部署への働きかけ）などを行ってみるのも良いのではないかと感じた。

【検査室 室長 畑元聰】

## 第2回 健康教室を開催

栄養科では12月9日に平成30年度第2回健康教室を開催。今回は「骨粗鬆症と闘う～食事で骨を守る～」をテーマに、骨に良い食事や生活習慣という内容で当院管理栄養士による講話と、今回のテーマに則したメニューの昼食を味わうランチ会を実施しました。



当院では、栄養科による健康教室を年3回、リハビリテーション科による糖尿病をベースにした運動教室を年3回行っています。どなたでもご自由にご参加下さい。

ランチ会で参加者に召し上がっていただいた『骨を作るカルシウム・マグネシウム・ビタミンD・ビタミンKたっぷりランチ』

<メニュー> 玄米、鮭のクリーム煮、ひじきの煮物、小松菜の白和え、ヨーグルトゼリー

ヤクションたより

# 情報技術室



## スタッフ紹介

<写真 左から> 稲福 邦男、勢頭 翼、金城 幸秀

私たち情報技術室は電子カルテ管理、ネットワーク管理、パソコン指導、診療報酬改定、電子カルテでは賄えない部分のプログラム作成を担っており、現場からの問い合わせを元に、電子カルテのメーカーと連携して業務を円滑に行えるようにしています。最近ではサーバー交換も行っておりOSが変更になることで動かなくなるソフトが多々あることから、動作チェックは細かく行い、大きな障害もなくサーバー交換を終えることが出来ました。今後は「やえせAGの新築移転」や「元号変更」、「インフラ整備」や「新館の増築」等、やることが盛り沢山ですが、現場の業務をうまくサポート出来るようこれからも頑張っていきたいと思います。

## 主な業務

- \*電子カルテ管理
- \*電子カルテ対応外プログラムの作成
- \*電子カルテのプログラム更新処理及び診療報酬改定の対応
- \*院内サーバー（掲示板、ネットワークドライブ等）管理
- \*業務用パソコン及びサーバーメンテナンス
- \*インフラ整備



## 医療安全講演会を開催

TOPICS



■ 今回は学研のeラーニングを利用し、10月12日「医療安全文化の醸成ってなに？」というテーマで行われました。

医療現場では多忙な業務を理由に、安全活動の推進がともするとおろそかにされがちな状況にあります。積極的に時間を作り出して自律的に活動を進めていかなければ安全の確保は難しくなります。職場のスタッフ全員の行動様式や思考様式、価値観において「患者安全」がもっとも重要であると認識できるようになることが、安全文化の醸成です。安全とは何か、事故発生のメカニズム、安全活動の進め方、リスク管理について継続的に学び、実践していくなかで、安全文化、安全な職場風土をしっかりと作り上げましょう。

講師は杉山 良子 先生（パラマウントベッド株式会社 技術開発本部 主席研究員（看護師）/一般社団法人医療安全全国共同行動 改善アドバイザー）でした。尚、参加が出来なかった方はeラーニングで閲覧できますので、時間を見つけて視聴して下さい。

【看護部 副部長 具志堅美智子】

# 平成30年度 研修医～同仁病院での研修を終えて～



高瀬敦基先生

私は日本歯科大学の研修プログラムで同仁病院歯科口腔外科に4ヶ月間研修させて頂きました。同仁病院では沖縄の色々な地域の歯科医院から紹介で来る患者さんなど多くの患者さんを見学しました。埋伏智歯の抜歯や口腔癌、囊胞の手術などクリニックなどではあまり出会う事ない症例も数多く経験しました。吉田先生、圓谷先生には多大なご迷惑をおかけしつつも多数の口腔外科症例の見学、また院内症例発表など研修医としてとても貴重な経験ができました。本当にありがとうございました。医科歯科連携ができる同仁病院で研修を行えたことは私にとって大きな財産です。

これからは一人前の歯科医師になれるように研鑽を積んでいきたいと思います。



前原大地先生

今回、私は同仁病院の消化器内科で1か月間研修させていただきました。その中で多くの方々に支えていただき研修を終えた今は感謝の気持ちでいっぱいです。私がこの研修を通して一番感じたことは「人とのつながり」です。消化器内科の山城先生の心配りで、この1か月はいろんな部署にお邪魔させていただきました。そのどの部署の方々も丁寧に対応下さり、その業務内容を学ぶ中で医療は一人でできるものではないということを改めて実感しました。

今後専門分野に進んでいく中で、このような経験ができたことは本当に自分の財産になると思います。同仁病院のすべての方々に感謝を申し上げます。



橋野 伸先生

9月に泌尿器科で研修させていただきました、浦添総合病院研修医2年目の橋野と申します。1ヶ月という短い期間ではございましたが、宮里先生、謝花先生、知念先生をはじめ、他科の先生方にもお世話になりました、大変充実した日々を送ることができました。その中で、泌尿器科のオペや手技を学ばせていただいたり、C Vポートを作らせてもらったり、透析の仕組みを勉強したりと、毎日何らかの手技に恵まれ、また外来診療を通して地域に密着した医療に触れることができたことは、将来僻地医療に携わりたいと考えている私にとって大変実りのある日々でした。ご指導いただいた先生方、スタッフの皆様に感謝いたします。本当に貴重な学びをありがとうございました。今後も何卒よろしくお願ひいたします。

## 第194回 同仁病院ゴルフコンペ 結果報告

REPORT

日時：平成30年11月21日 7:40 スタート

場所：宜野座カントリークラブ



玉城大樹（内視鏡センター 副主任）  
ゴルフ歴25年 愛用クラブ：テーラーメイド、  
ミズノ

2位：立津 統（リハビリテーション科 科長）

ゴルフ歴8年 愛用クラブ：無印ゴルフ

3位：町田宗靖（内視鏡センター 師長）

ゴルフ歴25年 愛用クラブ：テーラーメイド



<ドラコン>

No. 9 山川岩美  
No.16 田本秀禎



<ニアピン>

No. 6 宮城正直  
No.11 田本秀禎  
No.14 前田 実



見事優勝した玉城大樹副主任



堂々の2位に輝いた立津統科長

- ◇平成30年度 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 研修修了  
(公益社団法人日本看護協会主催 平成30年8月15日／会場：沖縄県)  
**具志堅 美智子／町田 宗靖／瀧澤 真理子／島袋 智南三／大城 育子／西里 瑠美子／仲田 美香**
- ◇平成30年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 受講  
(公益社団法人沖縄県看護協会主催 平成30年8月14日／会場：沖縄県)  
**又吉 亮子**
- ◇平成30年度 インターネット配信研修【オンデマンド】多死社会に求められる看取りの看護研修 修了  
(公益社団法人日本看護協会主催 平成30年8月22日／会場：沖縄県)  
**瀧澤 真理子／山川 幸子／大城 樹子**
- ◇'18重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 修了  
(一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会主催 平成30年6月24日／会場：沖縄県)  
**又吉 亮子／内間 君枝**
- ◇平成30年度 院内感染防止対策・外来環・支援診・か強診等対策の研修会 受講  
(一般社団法人沖縄県歯科医師会主催 平成30年8月4日／会場：沖縄県)  
**吉田 誠**
- ◇沖縄県地域糖尿病療養指導士 認定  
(沖縄県地域糖尿病療養指導士会主催 平成30年7月24日／会場：沖縄県)  
**東江 健太郎／知念 さくら／安慶名 椎菜／岸本 愛莉／比嘉 佑樹／大城 梨乃**
- ◇地域包括ケア推進リーダー 修了  
(公益社団法人日本理学療法士協会主催 平成30年9月30日／会場：沖縄県)  
**河野 桃子**
- ◇平成30年度 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修 修了  
(公益社団法人沖縄県看護協会主催 平成30年10月27日／会場：沖縄県)  
**与那城 彰子**
- ◇画論26th The Best Image 優良賞  
(キャノンメディカルシステムズ株式会社主催 平成30年10月15日／会場：沖縄県)  
**森 宣子**
- ◇消化器内視鏡専門医 認定  
(一般社団法人日本消化器内視鏡学会主催 平成30年12月1日／会場：東京都)  
**柏木 宏幸**



■内視鏡専門医としてこれからも地域医療に貢献すると共に、多くの患者さんに高度な医療を提供できるよう日々の努力を怠らずに精進してまいります。現在、同仁病院の内視鏡センターはスタッフ、機器ともに充実しております、近隣施設より御紹介頂いた患者さんや初診の患者さんにも柔軟に対応致します。御紹介頂く患者さんも増えており、年間の内視鏡件数は年々増加傾向となっております。今後は嚥下外来の開設、治療内視鏡の強化など、これからも幅広いニーズに応えられる内視鏡センターを目指してまいります。

#### 発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院

企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12  
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



#### ■編集後記

前刊号よりリニューアルしました広報誌「同仁」。皆様には大変好評とのお声を耳にし、大変うれしく思います！11月号は同仁病院100周年について特集しております。編集に携わり、100年というスケールに圧倒されつつ、ヒシヒシとその歴史の重みを感じております。読者の皆様にもそれが伝わり、楽しんでいただけるのではないかと期待しております。[平]

八重瀬会 同仁病院  
facebookページ

